

美術研究科芸術学専攻 美術解剖学

養成人材およびカリキュラム編成の方針

美術作品の研究あるいは作品制作のため、造形の力を養うために、人体の解剖学的な形態について学ぶ。また個人の研究テーマによっては、人体だけでなく他の自然。である動物や植物の形態について学ぶ。

求める入学者像

- ・美術作品についての基本的な理解あるいは造形力がある者。
- ・人体や自然について興味や知識がある者。
- ・自身の研究テーマが明確で、入学以前にそのテーマについて既に研究を行っている者。

卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「修士論文」を含めた所定の単位を修得した学生を修了と認め、修士の学位を授与する。修士論文の評価は、美術解剖学の専任教員を含め、芸術学科の教員を含めた複数の教員で行い、評価を決定する。

カリキュラム構成

「修士一年」

美術解剖学の基本的な知識を身につけるため、人体の骨格、筋肉、さらには生体についての講義・実習を行う。必要に応じて、自然観察の研究旅行を実施し、動物や植物について学ぶ。また美術への理解を深めるため、美術研究旅行を行う。

「修士二年」

修士論文の完成に向けて、さらに美術解剖学の講義を行い、また各自の研究テーマに合わせた指導を行う。修士の二年間の研究成果を修士論文としてまとめ公表する。

教育目標

- ① 人体・自然の解剖学を基盤として美術への理解を深める
- ② 「美は自然に学べ」をモットーに芸術と自然の美を探究する。
- ③ 論文を書き、文章によって芸術についての意見を表明する力を養う。

上記のカリキュラム構成・教育目標に則り、以下の講義等を行う

一年次：美術解剖学特講、美術解剖学演習、研究旅行、年次研究

二年次：美術解剖学特講、美術解剖学演習、研究旅行、修士論文